

平成 27 年度

文化庁映画賞 映画功劳賞 受賞



島田 忠昭 (しまだ ただあき)

1956年(昭和31年)日活撮影所に入社。照明助手として数多くの現場を経験しながら、日本映画照明新人協会に日活支部員として参加し、各社照明助手の連携と情報交換にも積極的に取り組む。1972年(昭和47年)にフリーとなり、『宇宙怪獣ガメラ』(湯浅憲照 1980)で照明技師となる。日本アカデミー賞最優秀照明賞を受賞した『泥の河』(小栗康平 1981)『螢川』(須川栄三 1987)をはじめ『ダブルベッド』(藤田敏八 1983)『台風クラブ』(相米慎二 1985)『嵐が丘』(吉田喜重 1988)『ふたり』(大林宜彦 1991)『復活の朝』(吉田剛 1992)『深い河』(熊井啓 1995)『愛する』(熊井啓 1997)『あつもの』(池端俊策 1999)『THYAY 血の絆』(千野皓司 2011)など、数々の作品で手腕を発揮する。日本映画テレビ照明協会の運営委員、機関誌「映像照明」の編集委員、事務局長を歴任し、長年にわたり団体の運営に寄与するとともに、現在は東京ビジュアルアーツで講師を務め後進の育成にも尽力するなど、照明分野への貢献は多大である。

日本アカデミー賞最優秀照明賞 第5回『泥の河』 第11回『螢川』

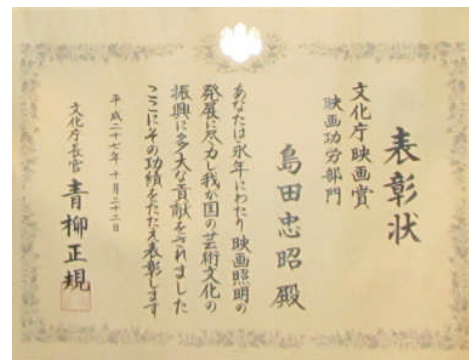
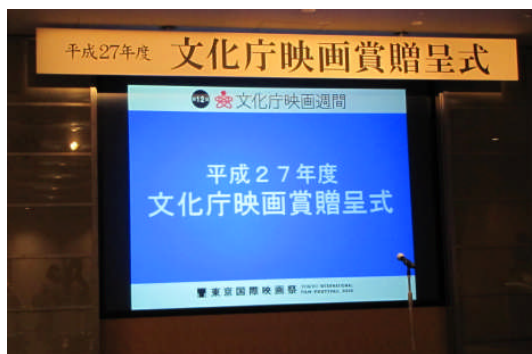
優秀照明賞 第19回『深い河』

日本映画テレビ照明協会照明技術賞 劇映画部門 昭和62年度最優秀照明賞『螢川』

平成4年度特別賞『復活の朝』 平成9年度審査員特別賞『愛する』

平成11年度最優秀照明賞『あつもの』

産業教育記録映画部門 平成11年度優秀照明賞『子供たちの傘』



平成27年度(第13回)文化庁映画賞贈呈式

平成27年10月22日 六本木ヒルズ グランドハイアット東京